第2回 八尾市総合計画審議会 議事録

日時：2025（令和7）年2月10日（月） 19：15～20：30

場所：八尾市役所本館6階 大会議室

出席者：田中会長、清水副会長（Web参加）、和泉委員、和田委員（Web参加）、松本委員、木村委員、久保委員、谷水委員、高島委員、野村委員、古河委員、日埜委員、柿本委員、川野（昭）委員、田上委員、宮本委員
事務局

欠席者：吉田委員、黒木委員、上木委員、川野（充）委員、坂口委員、佐野委員、重田委員

1. 開会

事務局

定刻となりましたので、ただいまより「第2回八尾市総合計画審議会」を開催いたします。司会を務めさせていただきます、政策企画部次長兼政策推進課長の柏原でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日も対面とWebの併用で開催してまいります。

それでは、会議開始にあたりまして、まず資料の確認をさせていただきます。

事前に送付させていただいております資料が、

- ・会議次第
- ・資料1：八尾市第6次総合計画後期基本計画の策定経過について
- ・資料2：議案第80号「八尾市総合計画基本計画を定める件」に対する附帯決議
- ・資料3：総合戦略部会における議論及び策定経過について
- ・資料4：第2期八尾市総合戦略（後期戦略）（案）について（答申）（案）
- ・参考資料の「やお市議会だより vol.328」

となっております。また、本日机上に配布しております資料は、差し替えとなります「会議次第」及び「資料4 第2期八尾市総合戦略後期戦略案についての答申」また「座席表」以上の3種類でございます。

本日差し替えとなります資料4につきましては、内容は後ほど報告させていただきますが、本会議に先立って開催いたしました第5回総合戦略部会において、第2期八尾市総合戦略後期戦略案についての議論が取りまとめられ、答申内容が確定したことによるものです。また、会議次第につきましては、後ほど市長へ答申書を手交いただくこととなりますので、次第3を手交式に変更したものです。

本日の会議の公開については、これまでに引き続き、会議、会議資料、会議録について公開とし、会議録作成のため、録音させていただきます。次に会議の成立要件の確認でございますが、「八尾市総合計画審議会 規則」第7条第2項の規定により、委員23名のうち出席委員数は16名と過半数の出席で、

会議が成立していることを報告します。なお、本日が本審議会の最終回となりますので、大松市長も同席させていただきます。それではこれからの議事進行につきまして、田中会長にお願いいたします。

田中会長

皆さまこんばんは。本日もどうぞよろしく申し上げます。総合戦略部会委員の皆さまには引き続きご参加いただきます。また、各委員の皆さま、市長にも遅い時間にご参加いただきありがとうございます。

本審議会につきましては、令和5年12月15日に設置をされ、これまで評価部会と総合戦略部会の専門部会に分かれて議論を進めてきました。本日はそれぞれの専門部会で議論してきた経過を報告し、皆さまで共有するとともに、先ほど会議次第の差し替えがありました通り、総合戦略部会の議論をとりまとめた答申を、市長に直接お渡しすることとなりますので、どうぞよろしく申し上げます。

2. 報告事項

(1) 八尾市第6次総合計画後期基本計画の策定経過について

田中会長

それでは次第に沿って進めさせていただきます。まず次第「2 報告事項」について、それぞれの専門部会における経過を各部会長より報告いただきます。

まず、第6次総合計画後期基本計画の策定経過については、部会長を務めました私より報告させていただきます。評価部会は、後期基本計画の策定に向けて必要な取り組みや進め方等の提案を行うために設置され、委員10名で積極的な議論を進めてまいりました。特に市民委員の皆さまより、生活当事者としての気づきを数多くいただき、とても有意義な機会となりました。取りまとめた結果を昨年10月30日に市長へ答申させていただきました。その詳細については事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料1、資料2及び参考資料を事務局から説明)

田中会長

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明について、ご意見・質問はありますか。

(ご意見・ご質問なし)

(2) 総合戦略部会における議論及び策定経過について

田中会長

それでは、次に次第2の(2)総合戦略部会における議論及び策定経過について進めてまいります。こちらは、総合戦略部会の部会長である和田部会長より、ご報告をお願いいたします。

和田部会長

皆さま、どうぞよろしく申し上げます。本日はこの全体会の前に、「第2期八尾市総合戦略（後期戦略）（案）」について最終確認を行ったところです。総合戦略部会においては、5回にわたり非常に有意義で活発な議論をいただき、本当に良い後期戦略の答申を作ることができたと考えております。

ポイントとしましては、「まち・ひと・しごと総合戦略」の一環として、これからの八尾市をどうしていくのかについて、アグレッシブでポジティブな攻めの提案が多く出たと思います。中でも、八尾市の強みである産業振興と観光を掛け合わせた産業観光という視点を取り入れていこうという提案についてしっかり議論できたと感じております。具体的には、様々な名所・旧跡への観光だけでなく、ものづくりのまちとしての産業振興と観光を掛け合わせた取り組みについて、参画いただいた民間企業の委員の皆さまからご意見をいただきました。八尾市の強みとなる技術力の高さという点は、他市とは違う部分として活かせるのではないかという議論も出たところです。また、歴史資産の活用については、ご専門である和泉委員からも積極的に具体的なノウハウについてご提案いただいたところです。

さらに、先日1月28日の日本経済新聞に八尾空港の魅力についての記事が掲載されておりましたが、八尾空港の活かし方について、いよいよ開幕する万博によってさらにクローズアップされ、八尾市にとっても追い風となる一つではないか、そういった細かな視点も盛り込むことができたと感じております。

また、これから万博が開幕することとなりますが、万博開催後のアフター万博を見据えて、万博での経験をどのように取り入れていくのか、後期戦略の運用に向けても引き続き尽力いただきたいと思います。以上で総合戦略部会の報告とさせていただきます。

田中会長

ありがとうございました。それでは、答申の内容も含めて、詳細については事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料3及び資料4を事務局から説明)

田中会長

ありがとうございました。和田部会長からも詳細な経過説明をいただきました。ものづくりや観光、産業振興について、ツーリズムというキーワードでつながるという点は、八尾市として非常に大きな可能性のある展開が期待できるところです。ただいまの説明について、意見・質問はありますか。

野村委員

産業観光に関連して、弊社のコンペイトウミュージアムは産業観光まちづくり大賞で経済産業大臣賞を受賞しており、ツーリズム EXPO ジャパンという展示会にも出展しております。しかしながら、「産業観光」という名前では一般の方が受ける印象と隔たりがあるように感じています。「オープンファクトリー」であれば工場が開かれているのかな、と分かりやすい表現です。八尾市はいろいろな魅力的な新しいチャレンジをされているので、分かりやすく面白そうだな、行ってみたいなと思えるようなキーワードが大切だと思います。

田中会長

ありがとうございます。表現やメッセージの打ち出し方は非常に大切ですので、ぜひ今後の取り組みに活かしていただきたいと思います。

(3) その他

田中会長

それでは次第2(3)その他を進めてまいります。先ほど事務局から説明がありました通り、本審議会では令和5年12月から約2年度間にわたり、各専門部会においてさまざまな議論を進めてまいりましたが、本日の答申をもって締めくくりとなります。

そこで最後に、審議会委員として参画された皆さまより、今回の議論を通してのご意見やご感想をお伺いしたいと思います。特に市民委員や民間企業の委員の皆さまには、こうした行政の取り組みや会議等に参画する機会はありませんかと思っております。本日は大松市長も同席されておりますので、ぜひ市民目線、また事業者目線での率直なご意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

高島委員

今回、こうした取り組みに初めて参加し、びっくりしたというのが正直な感想です。市民でもあるのですが、こうして皆さまが色々と意見を出しあって八尾のまちがつくられていることを知り、すごくうれしく思いました。

ただ、こうした活動を知っている人、参加している人は多くありません。私の周りでもほとんど知られていなかったのも、もっと情報発信をすることで、八尾への愛着につながられるのではないのでしょうか。

田中会長

貴重なご意見をいただきました。評価部会の中でも同じご意見があり、「せっかく良いことをやっても、なかなか伝わっていない」という議論がありました。今後はさらに、行政と市民、また事業者の皆さまと双方向のコミュニケーションを作り出していき、それによってまちへの愛着が生まれてくるのだと考えています。他にはいかがでしょうか。

野村委員

「観光」や「健康経営」といったキーワードは数年前には出てきていませんでしたが、ここ最近は見解が取り入れられ、色々な部分に反映いただいていると感じています。今回、様々な意見が飛び交う中で、きちんと意見を聞いていただき、計画に反映され、答申に結びつけてくださったことに感謝しています。

田中会長

こうした取り組みが、関係者の信頼関係を醸成する一歩にもなります。行政側もこうした計画を丁寧につくっていることを、我々も知る機会になったと感じています。ありがとうございました。

先日審議会会長として提案させていただきました、市民委員の皆さまと市長の意見交換会について、事務局でご準備いただいていると聞いております。今回ご意見のなかった皆さまも、ぜひ、その場でご発言いただければと思います。また事務局には、こうした公式な場に比べて発言しやすいよう、リラックスできる雰囲気づくりの工夫をお願いします。

それでは、さきほどご報告いただきました後期戦略に係る答申の手交に移りますので、事務局へ進行をお返しいたします。

3. 手交式

事務局

それでは、次第3手交式を進めさせていただきます。まず答申にあたりまして、総合戦略部会において議論を進行していただきました和田部会長から、一言お願いしたいと思います。

和田部会長

先ほど報告した通り、各委員からの前向きな意見が反映されているので、市長にはしっかり読んでいただき、これからの八尾市の発展にぜひ活かしていただきたいと思います。

事務局

それでは、手交式に入ります。

－田中会長から大松市長に答申を手交－

事務局

ありがとうございました。それでは、大松市長よりご挨拶を申し上げます。

大松市長

本日も遅くまでご審議いただきまして、誠にありがとうございます。

先ほど答申をいただきました第2期八尾市総合戦略後期戦略につきましては、令和7年度からスタートいたしますが、審議会の皆さまからご提案いただきました内容につきましても、本戦略で掲げる6つの基本目標に位置づけ展開する各政策へ積極的に取り入れられるよう、全庁で進めてまいります。

また、第6次総合計画後期基本計画につきましても、大変長きにわたり熱心かつ慎重な議論をいただき、答申をいただいたところです。先日の12月市議会定例会におきまして、一部附帯決議はつきましたが、これは皆さまの審議いただいた内容というよりも、我々の説明不足や思いが伝わらなかった部分があったと認識しており、そういった点についてももしっかり進めていきたいと考えております。

来週21日から始まる3月市議会定例会では、令和7年度当初予算に関する審議が行われますが、本日その予算案を説明するため、5大紙やローカル紙、ジェイコムなどの報道機関を招いて記者会見を行いました。その中でも万博やアフター万博について八尾市がどのように展開するのか、多くの質問をいただきました。先ほどご意見もいただきました産業観光に関連して、八尾市には素晴らしい多くのものづくり企業があり、国内外から見学したいというお声をいただいております。万博期間中には大阪ヘルスケアパビリオンにもものづくり企業の出展をするとともに、八尾市域全体を1つのパビリオンに見立て、万博に来ていただいた方々に八尾市へも足を運んでいただき、工場見学など八尾の良いところを見ていただけるよう、万博開催中や開催後も世界に発信していきたいというお話をさせていただきました。

また、先ほどの議会の附帯決議では、「女性」という表現がなくなることで女性活躍の取り組みが後退するのではという議会からの指摘がありましたが、決して後退することはないと考えております。女性だけではなく、より広く多くの方を対象とした取り組みを進めることとしており、誤解を招くことがな

いよう、しっかりやっていきたいと思います。なお、万博のウーマンズパビリオンで4月24日に行われるパネルディスカッションでは、本市の人権政策課の女性職員が「すみれ」等女性活躍推進に関する取り組みについての発信することになっています。様々なご意見をいただいておりますが、しっかりと行政の施策として落とし込み、取り組んでいきたいと考えております。

皆さまよりいただいたご意見の中でも、八尾市では色々なことをやっているが、それが市民に伝わっていないという指摘を多くいただきました。私も就任以来、「良いことをやっても、伝わらなければそれはやっていないことと同じだ」と常に言っており、近くリニューアルされる市ホームページ等を活用しながら、八尾の良いところをしっかりと情報発信していきたいと思います。

会議では市民委員の皆さまからも多くの意見をいただいたと聞いています。後日開催予定の意見交換では、ざっくばらんな雰囲気、皆さまの意見を直接お聞かせいただきたいと思います。

本当に大変な状況の中、長期間にわたるご協力に感謝します。また市職員の皆さまの尽力にも感謝します。ありがとうございました。

事務局

皆さま、ありがとうございました。以上をもちまして、本日の議事は全て終了となります。これまで約2年にわたり、ご議論いただいた八尾市総合計画審議会も、これをもちまして終了となります。ありがとうございました。それでは最後になりますが、円滑な議事進行にご尽力いただきました田中会長より、締めくくりのご挨拶をいただきたいと思います。

田中会長

皆さまにお集まりいただき、約1年3カ月、ご一緒してきました。私自身は2009年、第5次から八尾市総合計画に関わりを持ち、足かけ16年になります。今回の策定過程でこれまでと明らかに大きく異なるのは、事業者の皆さまや多くの市民委員の皆さまに審議会へ参画をいただき、熱心な議論ができたことです。これが市民と行政の相互理解の機会ともなり、我々学識者にとっても新たな学び・気づきの機会となりました。今後、総合計画だけでなく、様々な場面で市民や事業者と行政の連携が当たり前のこととして標準装備されることを期待しております。計画は策定して終わりではなく、ここからが正念場です。ぜひ市民や事業者の皆さまも行政の下支えのもと、一緒に計画を進めていただきたいと思います。我々学識委員も、できることがあれば喜んでお手伝いさせていただきます。私個人としては、八尾市の総合計画を授業の中で取り上げ、学生が例えば自分のまちの総合計画と比較し、気づきを得るといった学習を進めてみたいと考えています。

4. 閉会

事務局

それでは以上をもちまして第2回八尾市総合計画審議会を閉会いたします。皆さま、ありがとうございました。

以上